

HBV-DNA 定量／RT-PCR(TaqMan)				2267000
				担当部署
HBV-DNA Log				生化
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 1 黄色	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		提出後 7 日間		

生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	L コピー/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>B 型慢性肝炎の病態は、血液中の HBVDNA 量の変化と密接に関係する。HBVDNA 量の増加に伴って、ALT 値の上昇が見られ肝炎の悪化がしばしみられる。また一方、HBVDNA 量の減少とともに ALT 値の低下、肝炎の鎮静化が認められる。</p> <p>したがって、HBVDNA 量の測定は、B 型慢性肝炎の診断、病態把握、予後の推定、抗ウイルス剤治療中のモニター、治療効果判定などに重要なマーカーである。とくに抗ウイルス剤を用いての治療中は最も高感度の検出系、測定条件で HBVDNA 量を把握する事が必要である。</p> <p>日本臨床第 7 版 5,2009,445</p>				